



キャリアナビだより ミライのとびら

令和3年4月
キャリアナビゲーター
中村 彩可

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。矢田小学校へようこそ！
2年生から6年生のみなさんも、進級おめでとうございます。今年度もキャリアナビゲーターとして矢田小学校のみなさんと一緒に活動させていただきます。よろしくお願ひします。出会った頃を思い返すと、みなさんの成長の早さに驚くばかりです。今年もみなさん一人一人にとって実りあるすばらしい1年になりますように。

キャリアナビゲーターの中村彩可です。
先生ではないので“あやさん”と呼んでください。
お便りには、ライフキャリアに関わることができる一人の大人として、みなさんに伝えたいことを書いていきます。ぜひ、おうちの人とも読んでみたり、感想などを教えてもらえたりすると、とてもうれしいです。



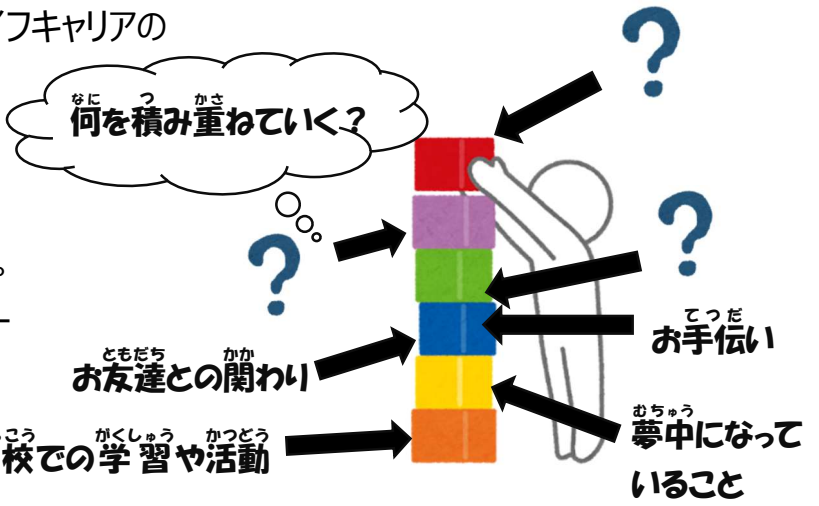
キャリアナビゲーターとは、、、

矢田小学校に通うみんなの一人一人の素敵なところや、これからの目標や将来の夢を一緒に見つけたり、その目標や夢について一緒に調べたりする人です。毎日学校に来ていて、普段は3階にある『ミライのとびら』というライフキャリアのお部屋が職員室にいます。
(出張で学校にいない時もあります。)



これから『ライフキャリア』という言葉を目にするかあるかと思ひます。
ライフキャリアとは、日々の生活や学習などを通じた体験や経験の積み重ねのことです。
みなさんが今、学校に通っていることもライフキャリアの

ひとつということ。す。
目標を達成するため、夢を叶えるため、なりたひ自分になるために、どのように、何を積み重ねていくかがとても重要です。そのサポートをするのがキャリアナビゲーターのお仕事でもあります。



小学校での学習や活動

夢中になっていること

キャリアナビ通信 4月号

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。2018年10月から始まった本事業も今年で4年度目となりました。本事業では、針路(ライフキャリア)に関する出前事業や保護者様向け講演会、職場体験のコーディネート、キャリア教育に関わる学校へのコンサルテーション、及びお子様と保護者の皆様に対する個別相談などを行ってまいります。今年度も引き続き宜しくお願いいたします。



キャリアナビゲーターの中村彩可です。昨年度に引き続き、矢田小学校を担当させていただくことになりました。今年度も宜しくお願いいたします。

Q:「ライフキャリアサポート」って何？

「体験の積み重ねにより、児童生徒の皆さんが、将来、社会で生き生きと生きていくために必要な力を付ける応援をして、キャリア発達の促し」をすることです。日々の関わりの中でも、今後どんな人生を歩みたいのかを児童と一緒に考えたり、そのために必要な力は何かを伝えたりしています。では、文章の最後に出てきたキャリア発達とは一体、何でしょうか？文部科学省は児童・生徒の個性や発達段階を踏まえてキャリア発達を以下の様に示しています。

小学校	中学校	高等学校
<p>(進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期)</p> <p>○自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ○夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得 ○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成</p>	<p>(現実的探索と暫定的選択の時期)</p> <p>○肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ○興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成 ○進路計画の立案と暫定的選択 ○生き方や進路に関する現実的探索</p>	<p>(現実的探索・試行と社会的移行準備の時期)</p> <p>○自己理解の深化と自己受容 ○選択基準としての勤労観・職業観の確立 ○将来設計の立案と社会的移行の準備 ○進路の現実吟味と試行的参加</p>

出典：文部科学省『小学校キャリア教育の手引き<改訂版>』

Q:社会で生き生きと生きていくために家庭でできることは？

上の表から、ご家庭でできるキャリア発達を促す関わりはどんなことが想像できるでしょうか。例えば、「身の回りの仕事や環境への関心→お家の中のお仕事を児童にも担ってもらおう」「夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得→保護者様からお子様働くことの楽しさを伝えたり、お子様が憧れるなりたい自分を聞いてみたりする」など、キャリア発達を促す関わりは学校の中だけで実践されるものではなく、ご家庭での関りによって育まれるものでもあります。お子様の一番近くにいる大人として、保護者様がお子様と与える影響はとても大きいです。何か新しく始める必要はなく、身近なところに絡めながら始めてみてはいかがでしょうか。

ライフキャリアに関するご要望を把握し、今後の取り組みの参考にさせていただきます。ぜひアンケートにご協力をお願いいたします。

